

家族のための

## わかりやすい統合失調症講座 ～病気編～

10月号

10月に入り秋季が肌にしみる季節と成りましたが、いかがお過ごしでしょうか。鴻巣病院では、統合失調症家族教室を定期的には開催していますが、感染症防止対策の観点から2020年後期の開催を見送る運びになりました。

そこで家族教室でお話しする内容をおたよりの形でお伝えしていくことになりました。今回は統合失調症についてお話をしていきます。



### 統合失調症ってどんな病気？



統合失調症は、脳の神経の働きに障害が出る病気です。私たちは、私たちの外側にある色々な情報を脳で処理して行動しています。統合失調症になると、そういった脳が円滑に働きにくくなると言われています。

例えば、私たちが住む街の中には、自然や建物の様々な色彩、車の通る音をはじめとした様々な音、飲食店から漂ってくる美味しそうな香りなど、多くの情報にあふれています。そういった環境の中で話をする時、私たちは会話相手の話の内容に意識を集中することで、他の情報に振り回されずに話しの内容を理解できます。このように、私たちは脳によって沢山の情報の中から必要なものを選び取っています。しかし、統合失調症になると、そういった情報の選択が難しくなってしまう、不必要な情報まで受け取ってしまうことでその状況にうまく対処しにくくなってしまうと言われているのです。統合失調症については、全てが解明されたというわけではありませんが、一つとしてこういったことが当事者の方に起こっているのではないかと考えられています。



### 再発の予防と家族

統合失調症は、服薬やリハビリテーションなど様々な方法を組み合わせながら治療を進めていきますが、家族が接し方を工夫することでより効果的に再発を予防できることが分かっています。

具体的には、過度に批判的になったり、過保護になりすぎたりしないようにすることが、再発の予防に役立つといわれています。同じように服薬をしても、家族がそれらの点に注意して関わることで、再発の可能性をより下げられるということが知られているのです。時に厳しく関わったり、親身に心配したりすることは大切ですが、どちらも過度になりすぎないように注意する必要があります。

統合失調症は、適切な治療と療養をおこなえば、十分に有効な治療効果をあげることができる病気です。そのためには、病気について知ることが第一歩になります。今後このように、統合失調症に関する情報をお伝えしていきます。一緒に病気について知っていきましょう。

症状には個人差があります。さらに詳しく知りたい方は、病棟スタッフ、もしくはデイケアまでお気軽にお声掛け下さい。次回は「薬について」を予定しています。